

合同野外焼肉

清

水友愛の里周辺は春を迎えてつくしが顔を出し、桜が咲いて、たんぽぽのじゅうたんが敷かれていましたが、緑豊かな景色へと移り変わり、夏を迎えようとしています。

今年度初めての行事となる「野外焼肉」を「友愛の里」と「さぽーとステーション憩いの丘」の合同で5月28



焼肉を楽しむ参加者

日(土)に行いました。前日まで雨が降ったため心配していましたが、当日は太陽が出て天候に恵まれました。炭をおこして牛肉や豚肉、ハムステーキ、海鮮塩焼きそば、野菜を次々と焼き上げました。おいしいそうな匂いが広がり、会場は盛り上がりを見せていました。職員も利用者の応援を受けて暑さに負けず、料理することができました。

食事の後は、レクリエーションで「アイスのくじ引き」を行いました。一人ずつくじを引いて番号順に、16種類もののアイスの味の中から好みの物を選びます。人気はチョコレート系で、すぐに品切れとなっていました。珍しい味などもあり「今度、また食べるなら」と話している人もいました。

最後は、あいさつとともに恒例の「万歳三唱」と「紙吹雪」で行事は締めくくりました。参加者の年齢層が広いため、食事形態の調整やレクリエーションの内容、また、新型コロナウイルス感染症対策など、さまざまな課題がありますが、今後も利用者の皆さんが安全で安心して、楽しめるような行事を計画していきたいと思います。

デイセンターあすなろ

製パン班 ミニ行事

今までは定期的に旅行も交えた行事を実施していましたが、コロナ禍により、やむを得ず中止した行事もありました。

しかし、感染症対策がしっかりと行える場合に限り、利用者の日ごろの労をねぎらい、気分転換のため、規模を縮小し短時間でのミニ行事を実施しています。

6月にはあすなろ食堂内で、どら焼き作りを実施しました。熱したホットプレートに丸くなるよう生地を流して、気泡がふつふつと上がってくるまで少し待機。その間は待ち遠しく、じつと焼けるのを見つめている人や、焼けたら何に乗せようかと隣の人と相談し合っている人、ほかのグループが焼いている生地をのぞきに行っている人などさまざまでした。

焼きあがった生地はもちちりとしていて、ホットプレートの上でひっくり返すことは少し難しい作業でした。

た。自分で返すことが難しい人には、同じグループの人が手助けをする様子も見られました。

どらやきの具材として「いちご・バナナ・栗・白玉だんご・アイスクリーム・つぶあん・カスタードクリーム・生クリーム」などのトッピングをお好みで挟んで完成です。

どら焼きを食べたことはあっても、多くの人は自分で作ることは初めてでした。好きな具材をたくさん乗せてボリュームのある物を作る人や控えめに作る人など、自分だけの特別な人など、自分だけの特別な人など、自分だけの特別な人など、終始笑顔で楽しそうでした。

いつもの場所で、いつものメンバーと美味しい食べ物を楽しく食べるという時間も今はとても必要だと感じます。短時間でしたが、皆さんが仕事のことを忘れて仲間と笑い合えたひと時でした。